

食物負荷試験(日帰り)を受けられる患者様へ

月 日	/	
経 過	入院日(入院継続・退院)	
達成目標	負荷試験の結果に応じた栄養指導を、自宅での食生活に活かすことができる。 症状出現時の対応について理解できる。	
治療・処置	アレルギー症状が誘発された場合は、症状に応じて内服、吸入、注射などの治療を行います。	
検査	午前中に食物負荷試験を実施します。 負荷食品を単回もしくは数回に分け、40～60分の間隔で摂取します。	
活動・安静度	病室内で安静にお過ごしください。 症状が出た場合は、動ける範囲が変わることがあります。	
栄養	負荷試験終了後、アレルギー対応食(昼食)をとっていただきます。	
清潔	午後からシャワー浴をしていただきます。(退院後に入っていたいただいても構いません)	
排泄	病室内のトイレを利用します。□ 症状に応じて動ける範囲が制限されることがあります。	
説明 教育 指導	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より検査・治療計画の説明があります。 ・看護師より入院中の注意点について説明があります。 ・持参薬の確認をします。 ・体調の変化やご質問などありましたら、いつでもおたずねください。 ・負荷試験終了後に栄養士より栄養指導を行います。 ・15時～16時頃に医師の診察後、状態が落ち着いていたら退院となります。 ・服薬指導は必要に応じて行います。 	